

学校法人二本松学院 令和2年度 財務情報

財 産 目 録

I. 資産総額	21,715,150,000 円
内 基本財産	12,428,097,864 円
運用財産	9,287,052,136 円
II. 負債総額	3,091,453,753 円
III. 正味財産	18,623,696,247 円

令和3年3月31日 (単位: 円)

区 分	金 額
<b>資 産 額</b>	
<b>1 基本財産</b>	12,428,097,864 円
土地	75,850.05 m <sup>2</sup> 2,034,297,210 円
建物	55,979.88 m <sup>2</sup> 7,869,142,212 円
構築物	138 件 305,132,945 円
教育研究用機器備品	12,306 点 185,236,903 円
管理用機器備品	580 点 225,812,435 円
図書	25,631 冊 112,078,239 円
車両	26 台 22,952,136 円
建設仮勘定	1,670,213,600 円
電話加入権	676,312 円
施設利用権	111,826 円
ソフトウェア	2,444,046 円
<b>2 運用財産</b>	9,287,052,136 円
第2号基本金引当特定資産	0 円
減価償却引当特定資産	80,000,000 円
学院整備引当特定資産	600,000,000 円
長期前払金	9,729,220 円
保険積立金	510,987,531 円
保証金	10,180,000 円
預託金	113,001,118 円
出資金	10,000 円
同窓会等預り資産	181,796,960 円
現金預金	7,713,998,907 円
未収入金	6,781,890 円
貯蔵品	29,700,000 円
前払金	30,866,510 円
仮払金	0 円
<b>I. 資産総額</b>	21,715,150,000 円
<b>負 債 額</b>	
<b>1 固定負債</b>	181,796,960 円
同窓会等預り金	181,796,960 円
<b>2 流動負債</b>	2,909,656,793 円
未払金	35,533,344 円
前受金	2,765,930,040 円
預り金	51,239,009 円
預り保証金	56,954,400 円
<b>II. 負債総額</b>	3,091,453,753 円
<b>III. 正味財産(資産総額－負債総額)</b>	18,623,696,247 円

# 貸借対照表

令和 3年 3月31日

(単位 円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定資産</b>	<b>13,933,802,693</b>	<b>13,887,235,774</b>	<b>46,566,919</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>12,424,865,680</b>	<b>11,870,944,512</b>	<b>553,921,168</b>
土地	2,034,297,210	1,924,130,260	110,166,950
建物	7,869,142,212	8,197,873,030	△ 328,730,818
構築物	305,132,945	350,990,472	△ 45,857,527
教育研究用機器備品	185,236,903	207,372,693	△ 22,135,790
管理用機器備品	225,812,435	230,736,971	△ 4,924,536
図書	112,078,239	106,160,174	5,918,065
車両	22,952,136	18,574,112	4,378,024
建設仮勘定	1,670,213,600	835,106,800	835,106,800
<b>特定資産</b>	<b>680,000,000</b>	<b>1,222,000,000</b>	<b>△ 542,000,000</b>
第2号基本金引当特定資産	0	600,000,000	△ 600,000,000
減価償却引当特定資産	80,000,000	72,000,000	8,000,000
学院整備引当特定資産	600,000,000	550,000,000	50,000,000
<b>その他の固定資産</b>	<b>828,937,013</b>	<b>794,291,262</b>	<b>34,645,751</b>
電話加入権	676,312	676,312	0
施設利用権	111,826	322,382	△ 210,556
ソフトウェア	2,444,046	3,986,286	△ 1,542,240
長期前払金	9,729,220	14,593,830	△ 4,864,610
保険積立金	510,987,531	496,324,668	14,662,863
保証金	10,180,000	9,930,000	250,000
預託金	113,001,118	112,991,188	9,930
出資金	10,000	10,000	0
同窓会等預り資産	181,796,960	155,456,596	26,340,364
<b>流動資産</b>	<b>7,781,347,307</b>	<b>6,536,407,738</b>	<b>1,244,939,569</b>
現金預金	7,713,998,907	6,502,457,981	1,211,540,926
未収入金	6,781,890	812,775	5,969,115
貯蔵品	29,700,000	0	29,700,000
前払金	30,866,510	30,331,885	534,625
仮払金	0	2,805,097	△ 2,805,097
<b>資産の部合計</b>	<b>21,715,150,000</b>	<b>20,423,643,512</b>	<b>1,291,506,488</b>

<b>負債の部</b>			
科目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定負債</b>	<b>181,796,960</b>	<b>155,456,596</b>	<b>26,340,364</b>
同窓会等預り金	181,796,960	155,456,596	26,340,364
<b>流動負債</b>	<b>2,909,656,793</b>	<b>3,397,020,735</b>	<b>△ 487,363,942</b>
未払金	35,533,344	788,968,545	△ 753,435,201
前受金	2,765,930,040	2,512,860,020	253,070,020
預り金	51,239,009	47,192,170	4,046,839
預り保証金	56,954,400	48,000,000	8,954,400
<b>負債の部合計</b>	<b>3,091,453,753</b>	<b>3,552,477,331</b>	<b>△ 461,023,578</b>
<b>純資産の部</b>			
科目	本年度末	前年度末	増 減
<b>基本金</b>	<b>19,209,942,868</b>	<b>17,994,136,660</b>	<b>1,215,806,208</b>
第1号基本金	19,010,942,868	17,234,136,660	1,776,806,208
第2号基本金	0	600,000,000	△ 600,000,000
第4号基本金	199,000,000	160,000,000	39,000,000
<b>繰越収支差額</b>	<b>△ 586,246,621</b>	<b>△ 1,122,970,479</b>	<b>536,723,858</b>
翌年度繰越収支差額	△ 586,246,621	△ 1,122,970,479	536,723,858
<b>純資産の部合計</b>	<b>18,623,696,247</b>	<b>16,871,166,181</b>	<b>1,752,530,066</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>21,715,150,000</b>	<b>20,423,643,512</b>	<b>1,291,506,488</b>

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

徴収不能引当金

未収入金の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

退職給与引当金

期末要支給額（72,303,055円）は、（独）勤労者退職金共済機構中小企業退職金共済事業本部からの交付金と同額であるため、退職給与引当金は設定していない。

2. 重要な会計方針の変更等

該当事項なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 6,582,845,004円

4. 徴収不能引当金の合計額 0円

5. 担保に供されている資産の種類及び額 該当事項なし

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入を行うこととなる金額 0円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4号基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 関連当事者との取引

関連当事者との取引は、次のとおりである。

単位：円

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容は職業	議決権の所有割合	関係内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	(有) 京都教育支援センター (注1)	兵庫県 川西市	1600万円	不動産管理、賃貸借、教材販売等	—	—	寮管理、校内清掃、購買業務等	土地の賃借 (注2)	—	預託金	50,000,000
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	(有) 京都教育支援センター (注1)	兵庫県 川西市	1600万円	不動産管理、賃貸借、教材販売等	—	—	寮管理、校内清掃、購買業務等	業務委託料の支払 (注3)	113,070,000	—	—
役員及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社	(有) 京都教育支援センター (注1)	兵庫県 川西市	1600万円	不動産管理、賃貸借、教材販売等	—	—	職員の出向	出向料の受取 (注4)	19,200,000	—	—
関係法人	(財) 京都伝統工芸産業支援センター (注5)	京都府 南丹市	—	伝統工芸産業支援	—	2名	伝統工芸分野の技術習得等の業務委託	業務委託料の支払 (注6)	12,000,000	—	—
理事長	新谷秀一	—	—	—	—	—	—	土地の賃借 (注7)	44,037,000	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 理事長およびその近親者が議決権の100%を直接保有している。
- (注2) 賃借料の支払は行っていない。
- (注3) 寮管理、校内清掃、購買業務等の業務委託料については、市場価格を勘案して一般的条件と同様に決定している。
- (注4) 出向料については、出向者の人件費等を勘案し、合理的に決定している。
- (注5) 財団の意思決定に関する重要な契約（業務委託契約）が存在する。
- (注6) 伝統工芸分野の技術習得についての助言等の業務委託料については、実勢価格を勘案して一般的条件と同様に決定している。
- (注7) 土地の賃借は、近隣の賃借条件を勘案した上で協議し、賃借契約を締結している。

(2) その他

外郭団体（同窓会、学生自治会等）からの預り資産について、資産の部「その他の固定資産（同窓会等預り資産）」

と負債の部「固定負債（同窓会等預り金）」として同額を計上している。

# 資 金 収 支 計 算 書

令和 2年 4月 1日 から  
令和 3年 3月31日 まで

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
<b>学生生徒等納付金収入</b>	<b>4,081,809,000</b>	<b>4,167,883,000</b>	<b>△ 86,074,000</b>
授業料収入	3,565,530,000	3,646,388,000	△ 80,858,000
入学金収入	138,900,000	138,350,000	550,000
実験実習料収入	30,300,000	29,756,000	544,000
教育充実費収入	289,240,000	294,840,000	△ 5,600,000
施設設備費収入	0	1,080,000	△ 1,080,000
教材費収入	57,839,000	57,469,000	370,000
<b>手数料収入</b>	<b>51,377,000</b>	<b>45,086,050</b>	<b>6,290,950</b>
入学検定料収入	48,306,000	38,525,000	9,781,000
試験料収入	494,000	558,000	△ 64,000
証明手数料収入	782,000	837,750	△ 55,750
在籍管理料収入	1,400,000	4,850,000	△ 3,450,000
その他の手数料収入	395,000	315,300	79,700
<b>寄付金収入</b>	<b>6,450,000</b>	<b>5,673,000</b>	<b>777,000</b>
特別寄付金収入	6,450,000	5,673,000	777,000
<b>補助金収入</b>	<b>174,694,000</b>	<b>181,492,105</b>	<b>△ 6,798,105</b>
国庫補助金収入	64,609,000	71,374,500	△ 6,765,500
地方公共団体補助金収入	110,085,000	110,117,605	△ 32,605
<b>資産売却収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>付随事業・収益事業収入</b>	<b>241,223,000</b>	<b>282,984,220</b>	<b>△ 41,761,220</b>
補助活動収入	241,223,000	282,784,220	△ 41,561,220
スクールバス維持費収入	32,500,000	36,400,000	△ 3,900,000
寮費収入	202,663,000	238,016,150	△ 35,353,150
教育諸費収入	6,060,000	8,368,070	△ 2,308,070
受託事業収入	0	200,000	△ 200,000
<b>受取利息・配当金収入</b>	<b>3,066,000</b>	<b>2,316,729</b>	<b>749,271</b>
その他の受取利息・配当金収入	3,066,000	2,316,729	749,271
<b>雑収入</b>	<b>63,900,000</b>	<b>61,760,729</b>	<b>2,139,271</b>
施設設備利用料収入	16,168,000	18,836,100	△ 2,668,100
その他の雑収入	47,732,000	42,924,629	4,807,371
<b>借入金等収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>前受金収入</b>	<b>2,764,714,000</b>	<b>2,765,930,040</b>	<b>△ 1,216,040</b>
授業料前受金収入	2,365,250,000	2,310,650,000	54,600,000
入学金前受金収入	115,500,000	81,600,000	33,900,000
実験実習料前受金収入	27,546,000	25,074,000	2,472,000
教育充実費前受金収入	137,880,000	152,460,000	△ 14,580,000
その他の前受金収入	118,538,000	196,146,040	△ 77,608,040
<b>その他の収入</b>	<b>1,037,263,000</b>	<b>1,020,626,307</b>	<b>16,636,693</b>
第2号基本金引当特定資産取崩収入	600,000,000	600,000,000	0
前期末未収入金収入	1,083,000	812,775	270,225
仮払金回収収入	17,343,000	14,312,106	3,030,894
預り金受入収入	391,687,000	376,381,666	15,305,334
預り保証金受入収入	27,150,000	29,100,000	△ 1,950,000
預託金回収収入	0	19,760	△ 19,760
<b>資金収入調整勘定</b>	<b>△ 2,513,545,000</b>	<b>△ 2,519,641,910</b>	<b>6,096,910</b>
期末未収入金	△ 685,000	△ 6,781,890	6,096,890
前期末前受金	△ 2,512,860,000	△ 2,512,860,020	20
<b>前年度繰越支払資金</b>	<b>6,502,458,000</b>	<b>6,502,457,981</b>	

(単位 円)

収 入 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
収 入 の 部 合 計	12,413,409,000	12,516,568,251	△ 103,159,251

(単位 円)

支出の部			
科目	予算	決算	差異
<b>人件費支出</b>	<b>916,868,000</b>	<b>919,517,028</b>	<b>△ 2,649,028</b>
教員人件費支出	539,185,000	541,479,593	△ 2,294,593
職員人件費支出	376,023,000	376,517,435	△ 494,435
役員報酬支出	560,000	420,000	140,000
退職金支出	1,100,000	1,100,000	0
<b>教育研究経費支出</b>	<b>1,001,211,000</b>	<b>1,042,592,511</b>	<b>△ 41,381,511</b>
消耗品費支出	91,746,000	103,210,858	△ 11,464,858
新聞雑誌費支出	2,348,000	2,769,032	△ 421,032
光熱水費支出	58,641,000	59,107,111	△ 466,111
旅費交通費支出	695,000	594,254	100,746
奨学費支出	316,804,000	420,080,300	△ 103,276,300
研究費支出	2,200,000	1,961,684	238,316
通信運搬費支出	13,340,000	12,682,195	657,805
印刷製本費支出	14,200,000	9,481,831	4,718,169
修繕費支出	6,887,000	3,589,600	3,297,400
保守料支出	6,259,000	6,251,872	7,128
損害保険料支出	21,478,000	4,463,257	17,014,743
賃借料支出	83,788,000	83,796,515	△ 8,515
学生費支出	348,000	249,260	98,740
保健衛生費支出	6,228,000	6,232,464	△ 4,464
公租公課支出	320,000	0	320,000
支払報酬手数料支出	165,127,000	123,365,824	41,761,176
諸会費支出	2,806,000	2,777,070	28,930
放送大学支出	207,735,000	201,875,750	5,859,250
雑費支出	261,000	103,634	157,366
<b>管理経費支出</b>	<b>608,431,000</b>	<b>619,769,801</b>	<b>△ 11,338,801</b>
消耗品費支出	17,790,000	13,407,853	4,382,147
新聞雑誌費支出	392,000	0	392,000
光熱水費支出	10,854,000	9,961,583	892,417
旅費交通費支出	9,994,000	8,156,053	1,837,947
検定料減免費支出	4,906,000	4,928,000	△ 22,000
福利費支出	1,710,000	1,483,609	226,391
通信運搬費支出	36,562,000	36,815,451	△ 253,451
印刷製本費支出	102,150,000	110,988,463	△ 8,838,463
修繕費支出	26,350,000	20,220,728	6,129,272
保守料支出	2,609,000	2,617,560	△ 8,560
損害保険料支出	9,789,000	13,130,634	△ 3,341,634
広報費支出	239,297,000	240,832,173	△ 1,535,173
賃借料支出	10,933,000	10,803,622	129,378
渉外費支出	4,843,000	3,625,801	1,217,199
食糧費支出	1,352,000	644,674	707,326
公租公課支出	1,467,000	1,259,275	207,725
支払報酬手数料支出	124,106,000	137,662,616	△ 13,556,616
諸会費支出	2,386,000	2,299,933	86,067
私立大学等経常費補助金返還金支出	523,000	523,000	0
雑費支出	418,000	408,773	9,227
<b>借入金等利息支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>借入金等返済支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>施設関係支出</b>	<b>1,767,058,000</b>	<b>944,762,800</b>	<b>822,295,200</b>
土地支出	131,500,000	109,656,000	21,844,000
建物支出	17,000,000	0	17,000,000
建設仮勘定支出	1,618,558,000	835,106,800	783,451,200
<b>設備関係支出</b>	<b>22,244,000</b>	<b>50,141,999</b>	<b>△ 27,897,999</b>
教育研究用機器備品支出	3,970,000	32,556,948	△ 28,586,948
管理用機器備品支出	0	452,430	△ 452,430
図書支出	6,150,000	5,182,526	967,474

(単位 円)

支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
車両支出	12,124,000	11,950,095	173,905
<b>資産運用支出</b>	<b>74,737,000</b>	<b>72,662,863</b>	<b>2,074,137</b>
学院整備引当特定資産繰入支出	50,000,000	50,000,000	0
減価償却引当特定資産繰入支出	8,000,000	8,000,000	0
保険積立金支払支出	16,737,000	14,662,863	2,074,137
<b>その他の支出</b>	<b>1,256,216,000</b>	<b>1,218,987,571</b>	<b>37,228,429</b>
前期末未払金支払支出	788,969,000	788,968,545	455
預り金支払支出	420,879,000	372,334,827	48,544,173
預り保証金支払支出	24,276,000	20,145,600	4,130,400
前払金支払支出	5,922,000	26,001,900	△ 20,079,900
仮払金支払支出	16,137,000	11,507,009	4,629,991
預託金支払支出	33,000	29,690	3,310
[予備費]	0		0
<b>資金支出調整勘定</b>	<b>△ 53,170,000</b>	<b>△ 65,865,229</b>	<b>12,695,229</b>
期末未払金	△ 8,244,000	△ 35,533,344	27,289,344
前期末前払金	△ 44,926,000	△ 30,331,885	△ 14,594,115
<b>翌年度繰越支払資金</b>	<b>6,819,814,000</b>	<b>7,713,998,907</b>	<b>△ 894,184,907</b>
<b>支 出 の 部 合 計</b>	<b>12,413,409,000</b>	<b>12,516,568,251</b>	<b>△ 103,159,251</b>



活動区分ごとの調整勘定等の計算過程は以下のとおり。

(単位 円)

項目	資金収支計算書計上額	教育活動による資金収支	施設整備等活動による資金収支	その他の活動による資金収支
前受金収入	2,765,930,040	2,765,930,040	0	0
前期末未収入金	812,775	812,775	0	0
期末未収入金	△ 6,781,890	△ 6,781,890	0	0
前期末前受金	△ 2,512,860,020	△ 2,512,860,020	0	0
収入計	247,100,905	247,100,905	0	0
前期末未払金支払支出	788,968,545	5,517,745	783,450,800	0
前払金支払支出	26,001,900	26,001,900	0	0
期末未払金	△ 35,533,344	△ 35,533,344	0	0
前期末前払金	△ 30,331,885	△ 30,331,885	0	0
支出計	749,105,216	△ 34,345,584	783,450,800	0
収入計 - 支出計	△ 502,004,311	281,446,489	△ 783,450,800	0

# 事業活動収支計算書

令和 2年 4月 1日 から  
令和 3年 3月31日 まで

(単位 円)

	科 目	予 算	決 算	差 異
事業活動収入の部	<b>学生生徒等納付金</b>	<b>4,081,809,000</b>	<b>4,167,883,000</b>	<b>△ 86,074,000</b>
	授業料	3,565,530,000	3,646,388,000	△ 80,858,000
	入学金	138,900,000	138,350,000	550,000
	実験実習料	30,300,000	29,756,000	544,000
	教育充実費	289,240,000	294,840,000	△ 5,600,000
	施設設備費	0	1,080,000	△ 1,080,000
	教材費	57,839,000	57,469,000	370,000
	<b>手数料</b>	<b>51,377,000</b>	<b>45,086,050</b>	<b>6,290,950</b>
	入学検定料	48,306,000	38,525,000	9,781,000
	試験料	494,000	558,000	△ 64,000
	証明手数料	782,000	837,750	△ 55,750
	在籍管理料	1,400,000	4,850,000	△ 3,450,000
	その他の手数料	395,000	315,300	79,700
	<b>寄付金</b>	<b>6,450,000</b>	<b>5,673,000</b>	<b>777,000</b>
	特別寄付金	6,450,000	5,673,000	777,000
	<b>経常費等補助金</b>	<b>174,694,000</b>	<b>181,492,105</b>	<b>△ 6,798,105</b>
	国庫補助金	64,609,000	71,374,500	△ 6,765,500
	地方公共団体補助金	110,085,000	110,117,605	△ 32,605
	<b>付随事業収入</b>	<b>241,223,000</b>	<b>282,984,220</b>	<b>△ 41,761,220</b>
	補助活動収入	241,223,000	282,784,220	△ 41,561,220
	スクールバス維持費収入	32,500,000	36,400,000	△ 3,900,000
寮費収入	202,663,000	238,016,150	△ 35,353,150	
教育諸費収入	6,060,000	8,368,070	△ 2,308,070	
受託事業収入	0	200,000	△ 200,000	
<b>雑収入</b>	<b>63,900,000</b>	<b>62,010,729</b>	<b>1,889,271</b>	
施設設備利用料	16,168,000	18,836,100	△ 2,668,100	
その他の雑収入	47,732,000	43,174,629	4,557,371	
<b>教育活動収入計</b>	<b>4,619,453,000</b>	<b>4,745,129,104</b>	<b>△ 125,676,104</b>	
教育活動収支	科 目	予 算	決 算	差 異
	<b>人件費</b>	<b>916,868,000</b>	<b>919,517,028</b>	<b>△ 2,649,028</b>
	教員人件費	539,185,000	541,479,593	△ 2,294,593
	職員人件費	376,023,000	376,517,435	△ 494,435
	役員報酬	560,000	420,000	140,000
	退職金	1,100,000	1,100,000	0
	<b>教育研究経費</b>	<b>1,332,122,000</b>	<b>1,347,464,217</b>	<b>△ 15,342,217</b>
	消耗品費	91,746,000	73,510,858	18,235,142
	新聞雑誌費	2,348,000	2,769,032	△ 421,032
	光熱水費	58,641,000	59,107,111	△ 466,111
	旅費交通費	695,000	594,254	100,746
	奨学費	316,804,000	420,080,300	△ 103,276,300
	減価償却額	330,911,000	334,571,706	△ 3,660,706
	研究費	2,200,000	1,961,684	238,316
	通信運搬費	13,340,000	12,682,195	657,805
	印刷製本費	14,200,000	9,481,831	4,718,169
	修繕費	6,887,000	3,589,600	3,297,400
	保守料	6,259,000	6,251,872	7,128
	損害保険料	21,478,000	4,463,257	17,014,743
	賃借料	83,788,000	83,796,515	△ 8,515
	学生費	348,000	249,260	98,740
	保健衛生費	6,228,000	6,232,464	△ 4,464
	公租公課	320,000	0	320,000
	支払報酬手数料	165,127,000	123,365,824	41,761,176
諸会費	2,806,000	2,777,070	28,930	
放送大学支出	207,735,000	201,875,750	5,859,250	

(単位 円)

		科 目	予 算	決 算	差 異
支出の部		雑費	261,000	103,634	157,366
		<b>管理経費</b>	<b>737,724,000</b>	<b>729,181,009</b>	<b>8,542,991</b>
		消耗品費	17,790,000	13,407,853	4,382,147
		新聞雑誌費	392,000	0	392,000
		光熱水費	10,854,000	9,961,583	892,417
		旅費交通費	9,994,000	8,156,053	1,837,947
		減価償却額	129,293,000	109,411,208	19,881,792
		検定料減免費	4,906,000	4,928,000	△ 22,000
		福利費	1,710,000	1,483,609	226,391
		通信運搬費	36,562,000	36,815,451	△ 253,451
		印刷製本費	102,150,000	110,988,463	△ 8,838,463
		修繕費	26,350,000	20,220,728	6,129,272
		保守料	2,609,000	2,617,560	△ 8,560
		損害保険料	9,789,000	13,130,634	△ 3,341,634
		広報費	239,297,000	240,832,173	△ 1,535,173
		賃借料	10,933,000	10,803,622	129,378
		渉外費	4,843,000	3,625,801	1,217,199
		食糧費	1,352,000	644,674	707,326
		公租公課	1,467,000	1,259,275	207,725
		支払報酬手数料	124,106,000	137,662,616	△ 13,556,616
		諸会費	2,386,000	2,299,933	86,067
		私立大学等経常費補助金返還金	523,000	523,000	0
		雑費	418,000	408,773	9,227
		<b>徴収不能額等</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
		<b>教育活動支出計</b>	<b>2,986,714,000</b>	<b>2,996,162,254</b>	<b>△ 9,448,254</b>
		<b>教育活動収支差額</b>	<b>1,632,739,000</b>	<b>1,748,966,850</b>	<b>△ 116,227,850</b>
教育活動収入の部		科 目	予 算	決 算	差 異
		受取利息・配当金	3,066,000	2,316,729	749,271
		その他の受取利息・配当金収入	3,066,000	2,316,729	749,271
		<b>その他の教育活動外収入</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
		<b>教育活動外収入計</b>	<b>3,066,000</b>	<b>2,316,729</b>	<b>749,271</b>
	教育活動外収入の部		科 目	予 算	決 算
		借入金等利息	0	0	0
		<b>その他の教育活動外支出</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
		<b>教育活動外支出計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
		<b>教育活動外収支差額</b>	<b>3,066,000</b>	<b>2,316,729</b>	<b>749,271</b>
	<b>経常収支差額</b>	<b>1,635,805,000</b>	<b>1,751,283,579</b>	<b>△ 115,478,579</b>	
特別収入の部		科 目	予 算	決 算	差 異
		資産売却差額	20,000	0	20,000
		設備売却差額	20,000	0	20,000
		<b>その他の特別収入</b>	<b>1,461,000</b>	<b>1,246,489</b>	<b>214,511</b>
		現物寄付	1,461,000	1,246,489	214,511
		<b>特別収入計</b>	<b>1,481,000</b>	<b>1,246,489</b>	<b>234,511</b>
特別活動		科 目	予 算	決 算	差 異
		資産処分差額	1,000	2	998
	設備処分差額	1,000	2	998	

(単位 円)

支 出 の 部	科 目	予 算	決 算	差 異
	その他の特別支出	0	0	0
	特別支出計	1,000	2	998
	特別収支差額	1,480,000	1,246,487	233,513
	[予備費]	0		0
	基本金組入前当年度収支差額	1,637,285,000	1,752,530,066	△ 115,245,066
	基本金組入額合計	△ 1,830,813,000	△ 1,215,806,208	△ 615,006,792
	当年度収支差額	△ 193,528,000	536,723,858	△ 730,251,858
	前年度繰越収支差額	△ 1,122,971,000	△ 1,122,970,479	△ 521
	基本金取崩額	600,000,000	0	600,000,000
	翌年度繰越収支差額	△ 716,499,000	△ 586,246,621	△ 130,252,379
	(参考)			
	事業活動収入計	4,624,000,000	4,748,692,322	△ 124,692,322
	事業活動支出計	2,986,715,000	2,996,162,256	△ 9,447,256

令和3年5月18日

学校法人 二本松学院  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人 二本松学院

監事 藤田祥子 ⑩

監事 山形 進 ⑩

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人二本松学院寄附行為第18条の規定に基づき、学校法人二本松学院の令和2年度（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）の学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況について監査を行った。

私たちは監査に当たり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人二本松学院の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、学校法人の業務若しくは財産の状況又は理事の業務執行の状況に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実のないことを認める。

以上

---

（注）上記は監事の監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は学校法人二本松学院が別途保管しております。

## 二本松学院 財務報告

### 1. 財務の概要

令和2年度決算については、資金収支計算書の収入及び支出の部合計額が125億17百万円、事業活動収支計算書の当年度収支差額が5億37百万円の収入超過、貸借対照表の資産総額が217億15百万円となった。

事業活動収支計算書（企業会計における損益計算書に該当）についてみると、事業活動収入（47億49百万円）から当年度の費用である事業活動支出（29億96百万円）を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は17億53百万円のプラスとなった。また、基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額（12億16百万円）を差し引いた当年度収支差額は前述のように5億37百万円のプラスとなっている。

資金収支計算書（企業会計におけるキャッシュフロー）については、令和2年度収支の結果、次年度に繰越される支払資金の残高は、期首の65億2百万円から12億12百万円増加し、77億14百万円となった。

貸借対照表については、資産総額は217億15百万円と昨年度比で12億92百万円増加し、純資産額（資産総額－負債額＝基本金＋繰越収支差額）は17億53百万円の増額となり、186億24百万円となっている。

以上、財務三表の概要を記したが、京都東山キャンパス体育館建替工事代金（未払金を含む）16億19百万円の支払いがあったにもかかわらず総資金量が増加し、順調に財産形成がなされ、良好な財政状態が継続しているといえる。

当年度の収入を見てみると、主たる収入源である学生生徒等納付金は41億68百万円で、昨年度額36億73百万円に対し、4億95百万円の増加となった。その他、手数料収入45百万円（前年度44百万円）、学生寮・スクールバス運営を含む事業収入2億83百万円（前年度2億44百万円）など、事業活動収入全体として前年度比6億70百万円の増収となっている。

支出の面では、人件費が9億20百万円（前年度9億02百万円）、教育研究経費が13億47百万円（前年度11億78百万円）、管理経費が7億29百万円（前年度7億59百万円）となっている。

基本金については、園部キャンパスの校地取得に係る1億10百万円組入分のほか、京都東山キャンパス体育館建替工事に係る16億19百万円の組入を行った。また、第4号基本

金は、今年度末保持すべき第4号基本金額が既組入額に比し、20%以上の増加となったため、39百万円の追加組入を行うこととした。

財務比率については、最も概括的で重要な指標とされている純資産構成比率(純資産の「総負債及び純資産の合計額」に占める構成割合)が85.8%と引き続き良好な割合となっている。

また、運用資産余裕比率や積立率等の貸借対照表関係比率は、全体として、良好な比率となっており、引き続き安定した財務状態が続いていると言える。

また、平成27年度から、私立大学法人の経営状態を14段階に区分して、財政の健全性を把握する、日本私立学校振興・共済事業団の「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」については、経営状態が最も良好なA1から最も不良なD3の内、本学院は、平成27年度においては最上位のA1、平成28年度からは最上位の次のA2となっていたが、令和元年度決算においては、4年度ぶりに最上位のA1となり、令和2年度決算においても引き続きA1であり、財政の健全性は高いといえる。

以 上

2. 経年事業活動収支計算書

平成30年度～令和2年度 事業活動収支計算書

[単位：千円]

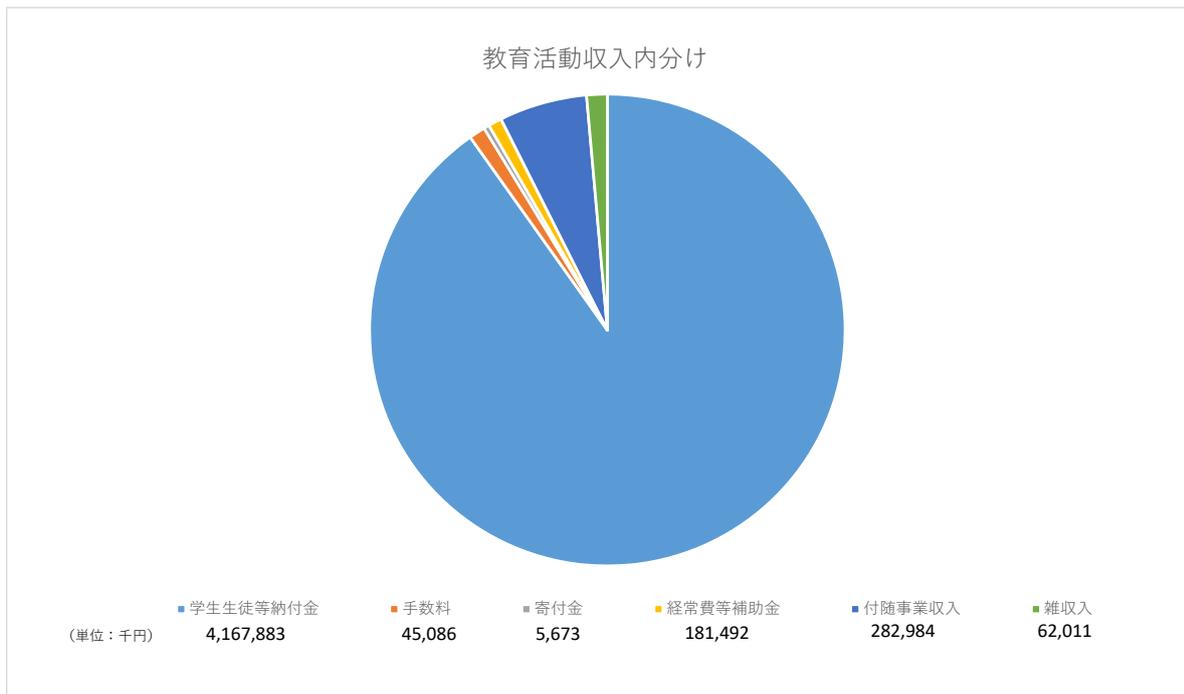
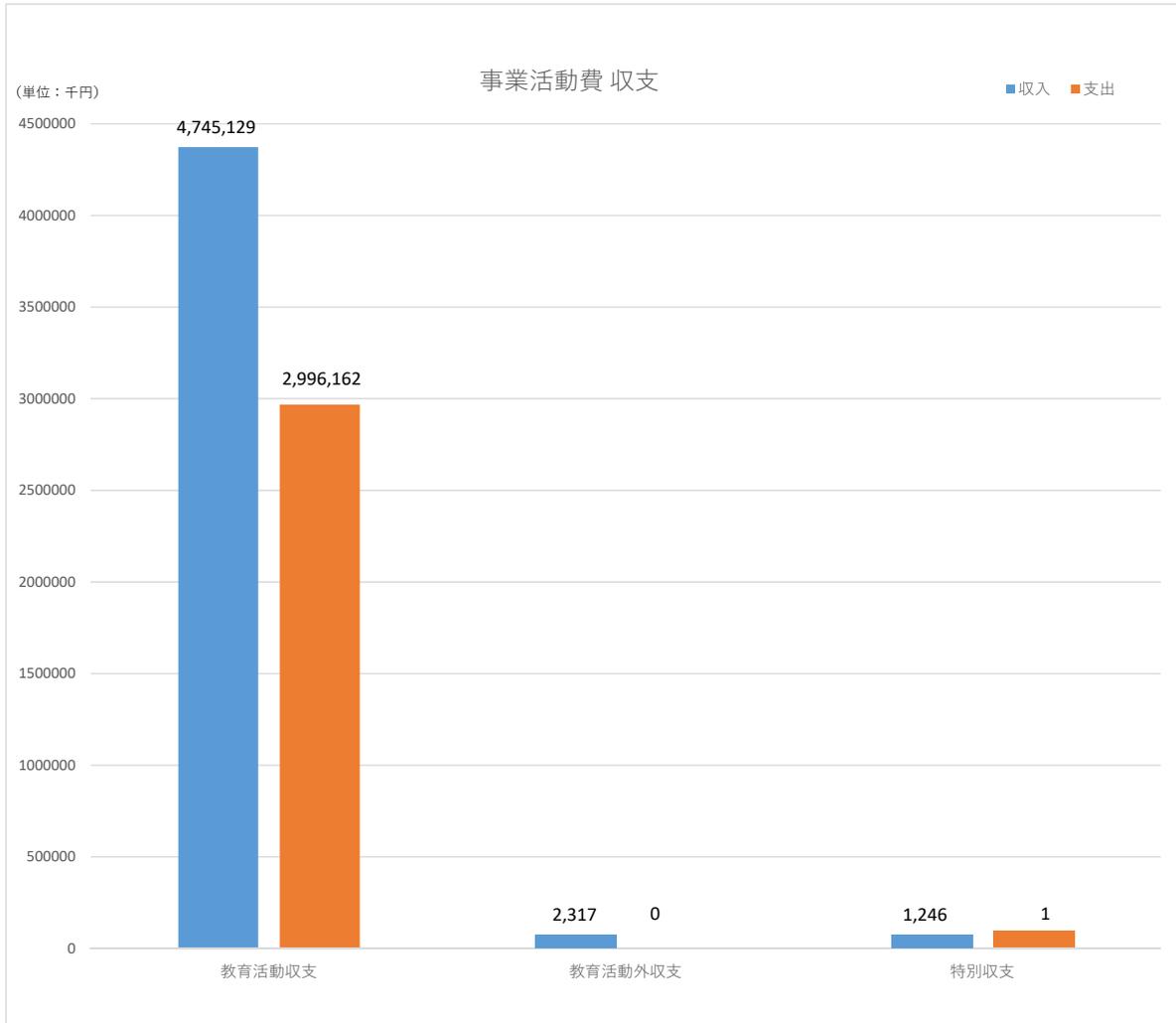
	科 目	H 3 0年度	R元年度	R 2年度	差異(R2-R元)
教育活動収支	学生生徒等納付金	3,211,570	3,672,593	4,167,883	495,290
	手数料	45,861	44,811	45,086	275
	寄付金	2,696	15,632	5,673	△9,959
	經常費等補助金	49,265	36,932	181,492	144,560
	付随事業収入	228,616	243,623	282,984	39,361
	雑収入	54,314	56,926	62,010	5,048
	教育活動収入計	3,592,322	4,070,517	4,745,129	674,612
	人件費	846,468	902,070	919,517	17,447
	教育研究経費	1,089,743	1,178,297	1,347,464	169,167
	管理経費	807,800	759,204	729,181	△30,023
	徴収不能額等	525	270	0	△270
	教育活動支出計	2,744,536	2,839,841	2,996,162	156,321
	教育活動収支差額	847,786	1,230,676	1,748,966	518,290
教育活動外収支	受取利息・配当金	3,271	2,951	2,316	△635
	その他の教育活動外収入	0	0	0	0
	教育活動外収入計	3,271	2,951	2,316	△635
	借入金等利息	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	0	0	0	0
	教育活動外支出計	0	0	0	0
	教育活動外収支差額	3,271	2,951	2,316	△635
經常収支差額	851,057	1,233,627	1,751,283	517,656	
特別収支	資産売却差額	0	19	0	△19
	その他特別収入	3,035	5,618	1,246	△4,372
	特別収入計	3,035	5,637	1,246	△4,391
	資産処分差額	5,712	7,000	2	△6,998
	その他特別支出	0	216	0	△216
	特別支出計	5,712	7,216	2	△7,214
	特別収支差額	△2,677	△1,579	1,246	2825
基本金組入前当年度収支差額	848,380	1,232,048	1,752,530	520,482	
基本金組入額合計	△403,834	△474,287	△1,215,806	△741,519	
当年度収支差額	444,546	757,761	536,723	△221,038	
事業活動収入計	3,598,628	4,079,105	4,748,692	669,587	
事業活動支出計	2,750,248	2,847,057	2,996,162	149,105	

### 3. 主な科目説明

#### 計算書類中の主な科目についての説明

- ・ 学生生徒等納付金：  
学生等から納入された授業料、教育充実費、入学金等
- ・ 手数料：  
入学検定料や証明書発行手数料等
- ・ 寄付金：  
学院や各校に対する寄付金
- ・ 経常費等補助金：  
国や地方公共団体から交付される補助金
- ・ 付随事業収入：  
寮費やスクールバス利用料等
- ・ 人件費：  
専任教職員や非常勤教職員などに支給する給与等
- ・ 教育研究経費：  
教育研究活動や学生等の学習支援等に支出する経費
- ・ 管理経費：  
総務・人事・経理等の法人業務に支出する経費
- ・ 基本金組入前当年度収支差額：  
経常収支差額と特別収支差額の計
- ・ 基本金組入額合計：  
学校法人が、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、事業活動収入から組み入れた額
- ・ 当年度収支差額：  
基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計を差し引いた額
- ・ 事業活動収入：  
学生納付金、手数料、寄付金、補助金などの、学校法人の負債とならない収入
- ・ 事業活動支出：  
人件費や教育研究経費、管理経費等
- ・ 教育活動収支：  
学校法人の本業である教育研究事業の収支で、経常的な事業活動収入及び支出のうち、教育活動外収支に係る事業活動収入及び支出を除いたもの
- ・ 教育活動外収支：  
主に財務活動の収支で、資金調達と資金運用の活動に係る収支をいう
- ・ 特別収支：  
特殊な要因によって一時的に発生した臨時的な事業活動収入及び事業活動支出をいう

## 事業活動収支計算書（グラフ等）



## 学校法人会計の特徴や企業会計との違い等の説明資料

学校法人二本松学院

学校法人の会計は、教育研究上の要求と財政上の諸条件との持続的な調和を図り、学校法人の永続的な維持を可能にするための計測の指針を提供するとともに、学校法人の諸活動の合理的な決定とその実行結果についての判断に資する資料を的確に提供するものです。

企業がその活動において業績を伸ばし利益を獲得することが目的なのに対して、学校法人は公共性の高い教育を提供し続けていくということが目的になっています。具体的な指標として、企業会計においては、その損益計算書で純利益がいくらになっているかを明確にすることが必要なのに対して、学校法人会計においては、その事業活動収支計算書で教育を継続し得る資産の保有を前提に、いかに均衡が取れた収支を維持できるかということを明確にすることが求められています。学校法人では、収入はすべて教育研究のために還元されることが基本であり、分配のための利益をあげるという概念は存在しません。単年度の収支を確定し、収入超過であれば未来の教育研究のためにどのように有効活用していくか、支出超過となれば、それをどう軌道修正し、縮小していくかが課題となります。両会計においては、その財政状態を広く公表できるように財務諸表が作成されていますが、企業会計では、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書等があり、学校会計では、貸借対照表、事業活動収支計算書、資金収支計算書等となっています。

次に、両会計の大きな違いとなる「基本金」と「資本金」について、企業会計の「資本金」は、不特定多数の投資家から集めた企業の資本です。それは投資家の所有物であり、資本金を提供するか解約するかは投資家の意思に属しています。また、それを元手に獲得した利益＝儲けについても同様で、投資家が構成する最高議決機関である株主総会で事業に投資するのか、投資家に分配するのか等を決定することができます。一方、学校法人会計の「基本金」は、学校法人が教育事業を継続するにあたり不可欠な土地、建物、資金等の財産を数値で表したもので、その原資は学校法人の設立当初、寄付によって賄われたものです。以降、学校法人が財産を取得した場合には、学校法人会計基準により、基本金に計上します。このことを学校会計では基本金を組み入れると表現します。そして、一旦基本金に組み入れた金額は原則として取り崩すことはできません。これによって、学校法人は教育研究の継続を担保しています。

## 令和2年度決算 財務分析資料

### 貸借対照表関係比率

	△ 高い値が良い	二本松学院	二本松学院	二本松学院	大学法人平均	内容	計算式
	▼ 低い値が良い	平成29年度決算	平成30年度決算	令和元年度決算	(医歯系除く)		
特定資産構成比率	△	4.8 %	6.0 %	3.1 %	22.4 %	特定の目的のために保有する金融資産の蓄積状況	$\frac{\text{特定資産}}{\text{総資産}}$
流動資産構成比率	△	28.3 %	32.0 %	35.8 %	13.3 %	資金流動性に富んでいる	$\frac{\text{流動資産}}{\text{総資産}}$
内部留保資産比率	△	19.5 %	20.5 %	28.5 %	26.1 %	有形固定資産は自己資金で調達	$\frac{\text{運用資産}-\text{総負債}}{\text{総資産}}$
純資産構成比率	△	86.4 %	82.6 %	85.8 %	87.8 %	法人の最も概括的で重要な指標	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債}+\text{純資産}}$
固定比率	▼	82.9 %	82.3 %	74.8 %	98.7 %	固定資産取得は自己資金が望ましい(100%未満が良好)	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}}$
固定長期適合率	▼	82.2 %	81.6 %	74.1 %	91.5 %	100%超えれば固定資産取得に流動負債	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}+\text{固定負債}}$
流動比率	△	220.7 %	192.4 %	267.4 %	251.8 %	短期的な支払い能力(200%以上が優良)	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$
前受金保有率	△	229.7 %	257.6 %	278.9 %	348.8 %	100%を割れば収入の先食い	$\frac{\text{現金預金}}{\text{前受金}}$